

科 目	必・選	担 当 教 員	学年・学科					単位数	授 業 形 態		
第2外国語C I 中国語 2nd Foreign Language CI, Chinese	選	今北 純子 李 鵬	4 年生 (各学科共通)					3	前期週 4 時間 後期週 2 時間		
授業概要	中国語の発音と基本的な文法についての勉強を通して、中国語で基本的な会話を身に付ける一方、中国の文化、風習を理解する。										
到達目標	1、中国語の発音を身につけ、日常常用単語を覚える；2、日常常用会話を身に付ける；3、中国の社会・文化・風習等を勉強することを通して中国を理解し、中国人との付き合い方を見つける。										
評価方法	前期中間試験：試験成績80%＋ノート10%＋課題10% 前期期末試験：試験成績50%＋前期中間試験成績30%＋ノート10%＋課題10% 後期中間試験：試験成績50%＋前期期末試験成績30%＋ノート10%＋課題10% 後期期末試験：試験成績50%＋後期中間試験成績30%＋ノート10%＋課題10%										
教科書等	相原茂・殷文イ 著 『中国語入門 きらきらの童年』（朝日出版社）										
内 容									学習・教育目標		
第 1 週	オリエンテーション／ 発音1 声調；単母音										
第 2 週	複母音／ドリル										
第 3 週	第2課 無気音と有気音／声母表										
第 4 週	そり舌音／消えるoとe & 練習										
第 5 週	ドリル／ 第3課 鼻音										
第 6 週	「e」のバリエーション・ドリル／ 第4課 アクセント・ドリル										
第 7 週	まとめ 復習&あいさつ用語／教室用語・「これは知っ得①・②」										
第 8 週	名前の読み方と自己紹介文章のつくり／自己紹介の発表										
第 9 週	ブリッジ 第1課 文法1、2、練習／文法3、4練習										
第10週	単語、本文、「たんご8兄弟」、「これは知っ得」／ ブリッジ 第2課 文法1、3										
第11週	文法2、練習／文法4、練習										
第12週	文法5、練習／単語、本文、「たんご8兄弟」、「これは知っ得」										
第13週	ブリッジ 第3課 文法1、練習／文法2、練習										
第14週	文法3、練習／文法4、練習、「これは知っ得」										
第15週	単語、本文、「たんご8兄弟」／ビデオ鑑賞、試験のための復習										
第16週	ブリッジ 第4課 文法1、練習										
第17週	文法2、練習										
第18週	文法3、練習										
第19週	文法4、練習										
第20週	単語、本文、「たんご8兄弟」、「これは知っ得」										
第21週	ブリッジ 第5課 文法1、練習										
第22週	文法2、練習										
第23週	文法3、練習										
第24週	文法4、5、練習										
第25週	単語、本文、「たんご8兄弟」、「これは知っ得」①										
第26週	「これは知っ得」②、ビデオ鑑賞										
第27週	第1課 文法1、4、練習										
第28週	文法2、練習										
第29週	文法3、練習										
第30週	単語、本文、「たんご8兄弟」、「これは知っとく」										
(特記事項)		JABEEとの関連									
		JABEE	a	b	c	d-1	d-2	e	f	g	h
		本校の学習・教育目標	A	A	C	C	C	B	D	B	C
									○		

中国語入門 ガイダンス（4年）

テキスト：相原茂・殷文イ 著 『中国語入門 きらきらの童年』（朝日出版社）（発音編、ブリッジ編）

内 容：

中国の経済発展によって中国を訪れる観光客が増えている一方、日本企業の進出も増えてきている。言うまでもなく、中国人や中国企業と接触する際に言葉での交流は重要であるが、相手国の風習や、習慣および考え方についての大体の理解があれば、観光であってもビジネスであってもプラスとなるだろう。

したがって、この授業では日常生活でよく使う会話を身につけることを目標とし、発音と基本的な文法を勉強するとともに、中国の文化、風習を紹介し、面白い中国語の勉強を通して、中国語の学習に対する興味を起こし、単語の量を増やすことを望んでいる。時間の余裕があれば中国映画の鑑賞を実行し、中国の文化をいろいろな角度から知ってもらいたい。大人数のクラスであるが、今年は会話の練習を増やし、会話の口頭試験も増やす予定である。

具体的には以下のように授業を行いたい。

授業の90分のうち60分で会話を中心とする授業を行う。前期は週に二回の授業を利用し、前期中間試験まで発音を基本とした授業を行う予定である。よく知られているように、中国語の発音は多種類であり、アクセントも厳しく分かれているため、発音が似ていながら意味がまったく異なる言葉がたくさんある。例えば、拼音（日本語の平仮名、片仮名のようなもの）が同じshi ziでも、アクセントの違いによって、「獅子」、「小石」、「柿」の三つの意味がある。これに十分に気をつけないと大きな誤解を招く危険がある。したがって、この授業では練習と復習を加え14回（7週）をかけて発音の授業を進めたい。

具体的には教科書にしたがって、「声調、単母音、複母音」、「声母表、無気音、有気音、そり舌音」、「鼻音、またしても消えるe」、「声調の変化」の順番に進みたい。発音の習得を進める同時に、単語と簡単な挨拶を少しずつ増やしていく。授業の次の週は練習とし、生徒の実習を中心とする。

後期は日常会話でよく使われている文法を中心に進めたいと思う。授業の次の週は練習とし、生徒の実習を中心とする。具体的には文法を復習しながら、会話の練習を行う。

前期と後期それぞれの残りの30分は「面白い中国語」と中国の文化や風習についての学習を中心としたい。日本語と中国語ではいろいろな共通点があるものの、相違点もたくさんある。たとえば、同じ漢字である「娘」だが、日本語の意味が「子供の女性の方」となっているが、中国語の意味では「母親」となっている。このような単語がたくさんあるが、よく使う単語の紹介を通して、中国語に対する興味を起こす一方、使い方を間違えないように注意してほしい。この「面白い中国語」とあわせて中国の文化、風習も紹介する。

そして、会話とヒアリングの練習も成績評価の一環として扱うので、普段からレベルアップのための努力と授業への積極的な参加が必要だろう。

評価方法：

前期中間試験：試験成績80% + ノート10% + 課題10%

前期期末試験：試験成績50% + 前期中間試験成績30% + ノート10% + 課題10%

後期中間試験：試験成績50% + 前期期末試験成績30% + ノート10% + 課題10%

前後期期末試験：試験成績50% + 後期中間試験成績30% + ノート10% + 課題10%